

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山本町・利根運河ツーリズム推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課			
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	恩田 一成			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・市民及び来訪者 ・地域：流山本町・利根運河地域	意図	流山本町及び利根運河地域における観光振興・活性化を図る。
事業内容	両地域に存する歴史的建造物を活用し、ギャラリーや飲食店、民芸品等の販売・展示を行う拠点をオープンさせ、来訪者の誘客につとめ、地域の活性化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	両地域の活性化と歴史的建造物の保存・継承を図る目的で「流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金」を平成23年6月に制定した。平成23年度は2店舗、平成24年度は1店舗、平成25年度1店舗、平成26年度に2店舗、平成27年度1店舗、当該補助金を活用し、両地域における活性化及び観光集客に大きく寄与している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	補助金の活用件数	1	2	1	件
②	施設等入館者	60,563	77,776	81,319	人	↑↑↑	実績
③	イベント入込客数	166,178	202,224	243,586	人	↑↑↑	実績
④	マスメディア（TV・ラジオ）露出数	48	14	10	件	↑↑↑	実績
指標で表すことができない定性的な成果	観光交流人口の増加に伴い、地元住民や商店主の活性化に対する意識が向上し、以前の賑わいを取り戻しつつある。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	・補助金を活用した古民家プロジェクトは、マスメディア等に取り上げられるなど認知度の向上が図られ、入込客数からも効果が検証できる。 ・老朽化し未利用であった歴史的建造物が再生され、貴重な地域資源の保存・継承が図られるとともに、観光交流拠点として地域活性化に大きく寄与している。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	15,470,790	18,192,090	14,318,194				
事業費(b)(円)	8,413,920	11,212,990	6,712,894				
うち一般財源	8,413,920	11,212,990	6,712,894				
職員給与費(c)(円)	7,056,870	6,979,100	7,605,300				
人役・職員(人)	1.01	1.01	1.01				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)	(建設又は取得年度のみ記入)						
想定耐用年数(年)	(建設又は取得年度のみ記入)						

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	補助金を活用した事業を1店舗オープンさせる。	③取組の課題	更なる店舗展開を行い、地域内の回遊性を高め、観光交流人口の増大を図ることが求められている。
②今年度(H27)に実施した取組	・補助金を活用した事業を1店舗オープンさせた。 ・マスメディアへの露出を高め、実効性ある宣伝を実施。	④今後の改善計画	流山本町ツーリズム環境整備方針を策定し、中長期的な視点で景観整備並びに観光振興施策を展開する。